



# 情報(第145号)



745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2階  
銀座社会保険労務士法人 社会保険労務士 吉国 智彦/和田 秀夫  
TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565  
E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp  
URL:<https://ginza-syaroushi.com/>

## 治療と仕事の両立支援 その3

引き続き「治療と仕事の両立支援」その3として、がん患者の治療を例にとって解説します。以下に、がん診断時から復職まで時系列により、対応の要点をまとめています。



### 1 がん診断時における対応と情報共有

#### (1) 両立支援のスタート

両立支援のスタートは「従業員本人からの申出」が基本です。しかし、がん確定診断時の心理的なショック等で診断後の速やかな申出が困難なことも多く、会社側から働きかけをしないと両立支援が進んでいかないケースもあります。時として会社側から本人の状況や意向を確認することも必要ですし、申出がしやすいよう、相談窓口とそのアクセス方法を明確化し周知しておくことで、実効性の担保を図ることも大切です（近藤明美外「がん治療と就労の両立支援」）。

#### (2) 会社が従業員から提供してもらう情報

両立支援のために会社が把握しておきたい情報は、主として以下の3つであり、これらを従業員から丁寧に聞き取ることが大切です。

##### ① 治療の見通し

治療内容（手術・薬物療法・放射線療法につき、これらを単独で行うのか、組み合わせで行うのか等）と、入院・通院の有無・期間等を確認します。ただし、診断がなされても治療計画が確定していないこともありますので、焦らずに、申出時点では主治医からどのように説明を受けているのかを確認して、必要な休業期間の見通しを予測、立案します。

##### ② 治療による業務への影響

会社が従業員の就業上必要な配慮をする上で、症状・副作用を知ることは大切です。例えば、「体力が低下しておりラッシュ時の通勤は避けるのが望ましい」「大腸がん手術の後遺症によりトイレに立つ回数が増える」などといった本人に寄り添った情報を聞き取っていきます。

##### ③ 本人の意向

就労継続のためには、従業員の気持ちや身体状態を考慮した働き方ができるとよりよいのです。そのためには、本人の意向を確認することが欠かせません。診断直後は気分の落ち込みが激しく、考えが整理できないことも多いので、「焦らないで考えましょう」「しっかり治療してください、待ってますよ」などの配慮をしたいものです。

### 2 休職期間前・休職中の対応

休職に入る際に、会社が従業員本人に対して、休職制度や傷病手当金、場合によっては障害年金について必要な情報提供をすることが有効です。これにより、本人にとっては職場復帰の目標にもなり、安心感を持って休職期間の過ごし方も前向きになります。

会社が従業員に伝えておきたい事項としては、①休職期間の開始日と満了日、②休職期間中の相談窓口・連絡方法、③休職期間満了時に復職できなかった時の取扱い、④会社に主治医からの診断書を出してもらう時期、⑤診断書作成にかかる費用の負担者、⑥給与や社会保険料、住民税の取扱い、⑦傷病手当金の申請書類作成や申請時期、⑧復職時の対応(予定)、が挙げられます。

また、休職期間中にも必ず定期的に本人と連絡を取り合うことが不可欠です。特に、メンタルの不調で休職している者と違い、がんで休職している従業員に対しては、密に連絡を取ってあげましょう。「休職中の従業員も職場の仲間であることに変わりはない」という意思表示が必要です。

### 3 職場復帰

職場復帰予定日が近づいたら、従業員に現在の状況を聞き取ります。治療によっては、想定していなかった副作用や後遺症が発生している場合があります。体力・免疫力の低下、疲れやすさの症状が出ていることもあります。これらを具体的に見極める方法として、次表のことが考えられます。

#### 【出勤時・就労時の問題と解決策の例】

症 状	会社対応	本人対応
(1) 子宮がん手術の後遺症で、足のむくみがひどく、立って出勤するのがつらい。	時差出勤	座れる時間帯や列車の位置などの確認
(2) 電車内で、乳がんの手術痕が押されなにか心配。押されるとひどく痛む。		
(3) 大腸がん手術の後遺症で、下痢がひどく、トイレを頻回に利用する。	当分の間、内勤とする	出勤途中、外回り時に立ち寄れるトイレの把握

(前掲 近藤「両立支援」を参考)

### 4 復職後の対応

職場復帰後しばらくは、職場定着を決定づける重要な期間となります。一見して調子が普通でも、元に戻っていないことも多いため、注意が必要です。例えば、抗がん剤治療後では、記憶力や注意力が低下したり、乳がんや前立腺がんで行われるホルモン治療では、更年期障害のような症状が出たり抑うつ状態になることがあるようです。治療の内容や個々人の体質によって出る症状はまちまちともなり、動向に注意が必要です。

### 5 職場定着

両立支援は、企業にとっても体力が必要で、負担は高いといえます。全員の協力で、再度就労できるようになるとすれば素晴らしいことです。

当法人では「治療と仕事の両立支援」をサポートいたします。

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2 階  
 銀座社会保険労務士法人 社会保険労務士 吉国智彦/和田秀夫  
 TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565  
 E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp  
 URL : <https://ginza-syaroushi.com/>